



~Advanced Test System and Test Bench Engineering Professional~

Tokyo Plant Co., Ltd.



アフターサービスのご案内

Update 2026.09.29

》メンテナンス、アフターサービス

毎日の健康に気を配っている人でも、その日の体調を漠然と判断する事はできますが、専門医の力を借りなければ体内の健康状態を正確に知ることはできません。

試験装置はテストを繰り返すにごとに、数々のパーツがほんのわずかずつ磨耗します。また、それらの磨耗を最小限度に防ぐために使われているオイルも使用頻度や時間の経過により劣化及び消耗します。

自然の再生能力を持たない試験装置は、定期的なメンテナンスで健康状態を把握し、必要な整備を行う事でベスト・コンディションを維持することができるのです。

試験装置で正確なデータ計測をするためには、定期メンテナンスが必要です。



》定期メンテナンスは未然に故障を防ぎます

特に連続耐久試験等、過酷な条件下で試験装置をご使用されている場合、ベアリング、各部シールの傷みが早いため、これらは定期的な交換が必要です。

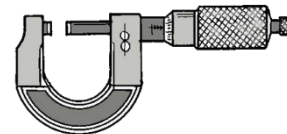
製品のメンテナンス後、弊社で検量検査、運転検査など出荷前に製品のコンディションを綿密に確認します。厳密な弊社基準をクリアした試験装置のみを再びお客様にお届けいたします。

》メーカーメンテナンス お客様のメリット

- ・弊社にて修理履歴・トラブル履歴・改造履歴の整理、管理しますのでお客様側の負担軽減が出来ます。
 - ・故障の未然防止、事故、トラブルなどの被害を最小限に止めます。
 - ・専門のエンジニアが作業を実施しますので、オーバーホール後のトラブルが御座いません。
オーバーホール完了後、安心して試験が実施できます。
 - ・オーバーホール後は、スタティックなトルク精度が $\pm 0.5\% F.S$ 以内の精度に戻ります。
そのため、計測制度の維持ができ、正確な試験データの計測ができます。
 - ・新品同様のコンディションに復旧
次回のメンテナンス時期まで、7000時間、もしくは、5～7年間、ご安心してご使用頂けます。
- ※お客様の使用頻度、テストベンチの環境により、メンテナンスサイクル（年数）は異なります。
- ・フルオーバーホールを実施された場合、保証延長として、納入後からさらに1年間の保証が付きます。

》メンテナンスの主なメニュー

- ①回転部のベアリング交換及びグリースアップ
- ②潤滑部へのOIL交換・供給
- ③カップリングの芯振れ、面振れ計測
- ④シャフトバランス修正作業
- ⑤軸受部交換、修正
- ⑥シール部品交換、修正
- ⑦電装品チェック、修正
- ⑧コネクタ、ケーブル全数チェック、修正、交換
- ⑨トルク・荷重校正作業（温度・圧力・回転も可能）
- ⑩ボルトの増締め
- ⑪清掃、再塗装
- ⑫検量検査、試運転検査



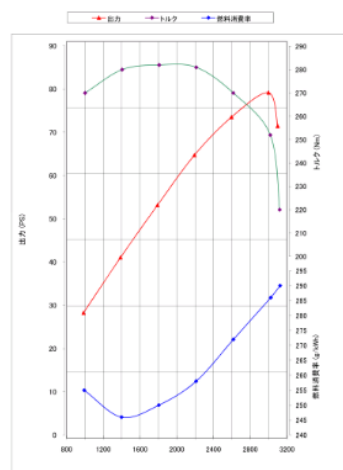
》分解点検報告書

弊社では製品分解後、ボルト一本に至るまで全ての部品の写真を撮影、点検、検査をします。不明瞭な内容がない報告書に自信を持っており、お客様にもご安心して頂いております。（実際の報告書は、写真に加えて、問題個所に矢印を挿入し、注釈をつけます）

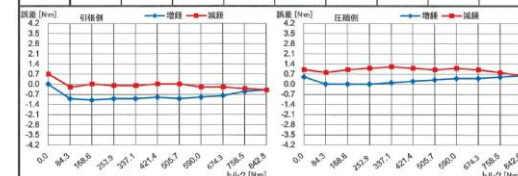


》出荷前性能検査

弊社テストベンチ内にて動力計とエンジンを接続し、試運転検査を実施します。
主にオイル、水漏れ、異常振動がないか？製品に問題がないことを確認してからお客様へ納品いたします。



基準 荷重	検査点	引張側 (CAL値: -)					圧縮側 (CAL値: -)				
		増速		減速		トルク Nm	増速		減速		トルク Nm
		指示値	誤差	指示値	誤差		指示値	誤差	指示値	誤差	
kg											
0	0.0	0.0	0.0	0.7	+0.7	0.5	+0.5	1.0	+1.0		
10	84.3	83.3	-1.0	84.1	-0.2	84.3	0.0	85.1	+0.8		
20	168.6	167.5	-1.1	168.6	0.0	168.6	0.0	169.6	+1.0		
30	252.9	251.9	-1.0	252.8	-0.1	252.9	0.0	254.0	+1.1		
40	337.1	336.1	-1.0	337.0	-0.1	337.2	+0.1	338.3	+1.2		
50	421.4	420.5	-0.9	421.4	0.0	421.6	+0.2	422.5	+1.1		
60	505.7	504.7	-1.0	505.7	0.0	506.0	+0.3	506.7	+1.0		
70	590.0	589.1	-0.9	589.8	-0.2	590.4	+0.4	591.1	+1.1		
80	674.3	673.5	-0.8	674.1	-0.2	674.7	+0.4	675.3	+1.0		
90	758.5	758.0	-0.5	758.2	-0.3	759.0	+0.5	759.3	+0.8		
100	842.8	842.4	-0.4			843.4	+0.6				



》メンテナンスのご計画の提案

試験装置はメンテナンスを続けることにより、
20年以上のスパンでご利用頂けます。
弊社ではお客様のご使用頻度、稼働時間などに応じて、
適正なメンテナンス計画を提案しております。
製品ご導入前の段階、またはご購入後にランニングコストや保全の
ご計画が必要な際には、お気軽にご相談ください。



》年次出張点検の推奨

製品の日常、月次、年次点検を怠りますと、最悪の場合、回転体の飛散などにより、従業員の方の死亡事故に繋がる可能性があります。

また、お客様のアプリケーションの開発、実験、検査には、正しい計測データが必須です。

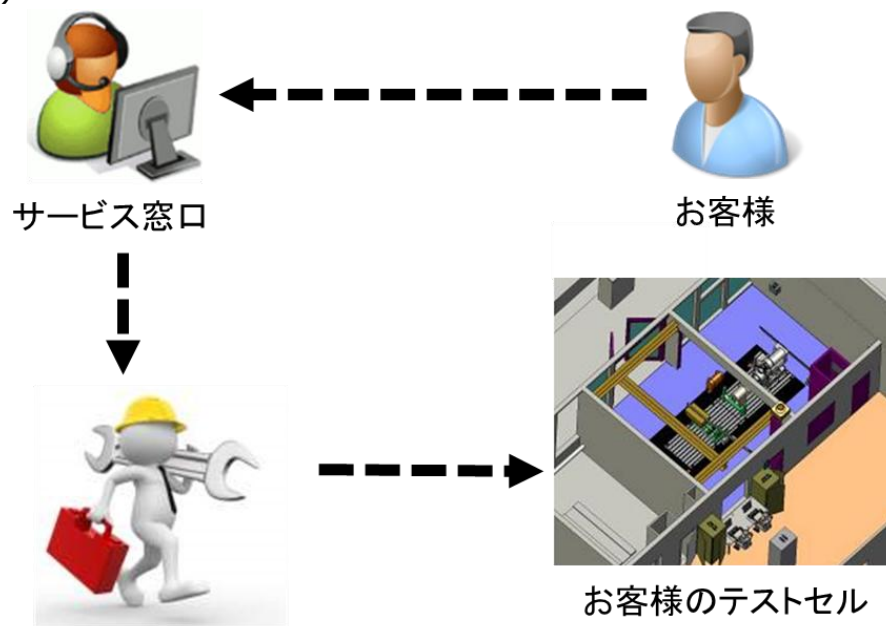
試験装置が老朽化すると、高い精度が維持できず、適正なデータが取得できません。

弊社では、これらのことを未然に防止するためにも、安全に試験装置をご利用いただくためにも年次点検を推奨しております。

弊社ではお客様のご要望に応じ、全国へエンジニアを派遣します。(※有償対応となります)

》年次出張点検メニュー（事例）

- ①トルク・荷重校正作業（温度・圧力・回転も可能）
- ②外観検査
- ③オイル交換
- ④ボルトの増締め
- ⑤制御計測機器の校正
- ⑥試運転確認
- ⑦検査成績書、レポートの提出



アフターサービス

》スペアパーツと校正作業

動力計のスペアパーツ、ロードセル、回転検出器などのセンサーの単品供給も可能です。

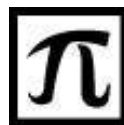
また、ロードセル、表示計の引き取り校正も実施しております。

貴社の管理上、ご必要な時期になりましたらお問い合わせください。（事前予約が必要です）



》弊社へのお問い合わせ方法

- ・製品名と製造番号をお知らせ下さい。（例：水動力計 P-55A型 製造番号：4桁の数字）
※製造番号は、製品本体の銘板に4桁の数字の刻印が御座います。
- ・必用なパーツ名をお知らせ下さい。
- ・パーツ名称が分からない場合は、断面図をお送りしますので、該当パーツをお知らせください



Since 1948



【問い合わせ先】
東京プラント株式会社 営業部
〒196-0024 東京都昭島市宮沢町515-5
TEL:042-546-6500 FAX042-546-6600
URL : www.tokyo-plant.co.jp
E-mail: sales@tokyo-plant.co.jp